

令和3年度 各係における教育活動重点目標

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、学校評議員・評価員へ配布しますので、学校評価シート の評価にお役立てください。

1 教務係

【今年度の重点目標】

①	生徒の学力向上を目指す。
②	校務が円滑に行えるように計画・立案する。
③	生徒の出席状況の把握と先行指導
④	生徒の豊かな人格形成を助ける。
⑤	入試広報係協力しての生徒募集活動

【評価 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	実施事項と今後の課題	年度末評価
①	授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映	授業評価を実施し、授業改善に努めたか。	B	年2回の授業アンケートを実施し、各教科でその結果を確認している。オンライン実施になり、全員からの回答を得られなくなった点が課題。	B
①②	教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫	計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。	A	シラバスはQRコードの活用で紙の削減を図った。また新課程のシラバスについても検討して提案した。	A
①	実力テストの結果の有効利用と、効果的な学習活動につながるよう研究する。	実力テスト自体やその活用について検討できたか。適切な準備・後処理が出来たか。	A	監督要項の改定を行い円滑な実施につなげた。また、次年度に向けた検討と選定も行った。活用についても見通しをつけられた。	A
①②	授業時数の確保	年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。	A	コロナウィルス感染拡大の影響はあったが、予定の変更、分散登校、オンライン授業等により授業時間を確保できた。	A
①②	試験時間割・監督・事後指導の日程	計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。	A	コロナウィルス感染拡大の影響を受けた回もあったが、予定を変更することで対応できた。	A
①②③	適切な年間計画の作成	年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。	B	コロナウィルス感染拡大の影響があったが、生徒の学びの機会を確保できるよう計画の変更を行った。行事については中止や縮小を行ったものもあった。	B
①②	学校自己評価	学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。	A	学校評価評議員会を通して外部に公表した。例年同様、HPによる公表も行う予定。	A

②④	LHRの計画・設定	学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。	B	コロナウィルス感染拡大の影響を受け、予定が変更された部分があった。	B
②	校内教研・テーマ学習会の立案・実施	研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。	B	第1回の校内教研は次年度に向けて学習におけるタブレット活用をテーマに行った。次年度に向け classi 講習も予定している。次年度の大幅な見直しも検討した。	A
③④	生徒の出席状況の把握と先行指導	毎日の出席状況や1/6、1/5 オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。	B	個人カルテの提出と確認を徹底し、成績会議で定期的な確認も行った。日常的な確認、対応は各担任が中心となって行った。	B
②	各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる	一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。	A	事務と連携し、学生支援機構の説明など円滑に遂行した。	A
①④	生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。	記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。	A	次年度に向け検討を行った。タブレットの導入合わせ、抜本的な見直しを検討した。	B
⑤	入試広報係と協力して入試業務を行う。	円滑に行えたか。(入試説明会・中学校訪問など)	A	計画通りに実施した。	A

2. 進路指導係

【今年度の重点目標】

①	講演会やキャリアガイダンス等を通して進路に対して目的意識を育むとともに、主体的な進路実現を支援する。 「e-Portfolio」に代わるもの「大学入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」への情報収集を行うとともに、進路実現に有効に働くよう検討する。
②	多岐にわたる進路における情報を適宜提供することにより、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行うとともに、生徒の面接指導やプレゼンテーション指導等を支援する。
③	基礎学力の向上に意欲を持てるよう、各種補習や模擬試験への取り組みを充実させ、進路実現に向けた学力の向上を図り、希望進路の実現を支援する。

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	三年間を見据えたキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。	各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画的に実施できたか。	A	コロナ禍で対面式の講演等が実施できない中、各学年の担当の努力によりオンラインで実施し、生徒にとって良いものとなった。
①	就職希望者を主とし職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。	看護体験や事業所見学の希望者に対し、事前に趣旨や意義を指導できたか。	A	オンラインによる看護説明会に参加した。また、インターンシップや福祉の職場体験を企画し、実施することができた。
②	生徒の進路意識状況を定期的に把握し、適切な進路情報を提供しアドバイスする。	生徒の進路意識に見合った進路情報を提供し、進路相談を行なえたか。	A	進路冊子の配布や Teams を利用して PDF での情報の発信など口頭伝達に留まらない提供が行えた。進路相談に訪れた生徒達に対しては HischoolOnline の Compass などをも有効活用し適切な指導が行えた。
③	生徒の学習の場を確保し、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。	キャリアセンターやスタディホールの有効活用ができたか。	A	コロナ禍ではあったが、可能な限りスタディホールで学習できる環境を維持し、3年生を中心に利用頻度は高い。キャリアセンターの指導用ブースも空きがほとんどないほど有効に活用できた。
② ③	生徒の成績の把握・分析を行い、状況に見合う進路指導を行う。	「classi」を学習指導に役立てることができたか。	B	Classi を利用してポートフォリオを作成させるなど有効に活用できた部分もあったが、Classi を完璧に有効利用できているとは言えない。更に研究していく必要がある。
③	研修会への参加及び校内での情報共有を行ない、職員間での共通理解を持つ。	教員の使用環境を整え、入試に問題なく活用する状況をつくることができたか。	A	コロナ禍によってオンラインでの研修会であったが、各担当者が参加をし、係会等で情報を共有した。また、研修の情報を職員全体と共有し、研修内容についてもレポートという形で共有した。

3. 生徒指導係

【今年度の重点目標】

①	制服を正しく美しく着させる
②	SNSとのかかわり方についての指導を充実させる
③	自転車の安全運転を徹底させる
④	電車内のマナー向上と安全な登下校
⑤	いじめの予防、早期発見、早期対応

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題	年度末評価
①	シャツの第一ボタンまで締めさせる指導。 女子生徒のスカート丈。	シャツの第一ボタンを締めさせる指導を徹底できたか。 正常なスカート丈で履けているか。	B	服装・身なりの基本や制服チェックという掲示物を各教室に配布し、正しい制服の仕方を周知した。また、学年ごとの定期的な服装頭髪検査を実施した。学年が上がるごとに服装の乱れが多少見られるが、正しく着用することが当たり前という雰囲気になりつつある。「何のために」という目的の部分をしっかり理解させ納得させることが出来ればおのずと理想の形に近づくはずなので、そこに注力したい。	B
②	校内スマートフォン使用ルールの徹底。 生徒指導だよりや講話、校内電子掲示板を利用した啓蒙活動。	他係と連携。利用ルールが守られていたか。 SNS関連の問題行動やトラブルが減ったか。	B	校内スマホルールについては定着したと感じる。生徒指導便りではほぼ毎号SNS利用について発信。校内電子掲示板は活用できなかった。SNS関連の問題行動数自体は減っているが、個人や学校を中傷するものや、個人を盗撮し投稿するものなど、問題行動の多くがSNS絡みである。歩きスマホについては非常に目につくが、生徒会の方で動いていただいた。歩きスマホは危険だということをまずは認識させ、継続指導が必要だと感じる。	B
③	生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動。 通学路自転車指導。	運転マナーが向上したか。 事故の件数。	A	1学年対象に上田警察署交通安全課担当者の講話を2年ぶりに実施した。上小管内でも高校生の自転車事故が多発している。入学時に実施することに一定の意味はあると感じる。また危険個所での指導を実施した。危険運転は見られず、マナーの向上を感じた。	A
④	生徒指導だよりによる啓蒙活動。 列車乗車指導・駅	乗車マナーが向上したか。 登下校時の生	B	係としての列車乗車指導はできなかったが、別の見回りでは問題なかった。駅員さんの話でも、マナーがいいと評価していただいた。	A

	見回り。通学路指導。	徒の状況。			
⑤	生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動。いじめアンケートの活用、他分掌との連携。	いじめを未然に防げたか。適切な対応ができたか。	A	いじめアンケートから出てきた案件について、適切に指導することができた。今後も早期発見に努め、アンケートの継続と啓蒙活動を実施したい。	A

4. 生徒会係

【今年度の重点目標】

①	生徒会本部役員のリーダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。
②	役員会・クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で、 <u>課題の発見から課題解決に至る道筋を見通し実行する力を育成することを通じて自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。</u>
③	他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。	予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。	A	企画、運営、反省のサイクルがよくできていた。西高祭・クラスマッチなどの行事もコロナ禍の仲良く運営で来ていた。
①	太鼓の伝統を引き継ぐ。	太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。	A	しっかりと引き継ぐことができ、生徒会の一つの伝統が継続されていた。
②	委員会活動を活性化させる。	各委員会がそれぞれ活発に課題意識を持ち、企画・運営し、課題解決に取り組めたか。	B	例年の委員会活動はできていると考えるが、課題意識からの委員会活動とはなっていないと反省している。
②	話し合いを通して、協力体制をつくる力を身につけさせる。	生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、 <u>課題解決のための討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。</u>	A	文化祭の一般公開の是非についての話し合いなど、課題に対してしっかりと話し合い、その結果を生徒に伝え実行するというプロセスができていたと思う。
②	集団指導体制を通して豊かな資質を育む。	各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。	A	文化祭、クラスマッチを通じて学年を超えた活動ができていた。
③	他校や地域との交流を深める。	他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。	B	文化祭ガイダンスには休校中のため参加できなかった。一方で、生徒同士では他校の生徒会との情報交換ができていた。

5. 防災整備係

【今年度重点目標】

①	管理箇所の点検や防災の推進を図る。
②	年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。
③	全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。
④	学習環境や地球環境の保護意識を高める

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	年度末評価	成果と来年度に向けての課題
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理 箇所の点検・管理箇所の安全確保。	B	教室の壁への落書きが目立ったが、指導し改善を計れた。掃除箇所の清掃備品が返却されない件数が多数あり。次年度備品整理を実施する。
①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施。	A	コロナ過によりオンライン防災訓練を実施。充実度が増した。避難経路の確認もおこなえた。
② ③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施(整美委員会が中心になって行う)。	A	各クラスが協力してくれ、通学路清掃が実施された。学校見学前などに生徒会が中心となり施設の美化を計れた。
③ ④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画。	A	各 HR 教室中心に分別がされていた。寮生のゴミ分別も徐々に改善傾向にある。寮生の退寮時の清掃について改善していく必要がある。